

NEWS RELEASE

2020年1月31日
株式会社三菱総合研究所

2019年10-12月期 GDP 1次速報予測

株式会社三菱総合研究所(本社:東京都千代田区、代表取締役社長:森崎孝)は、内閣府より2月17日(月)に公表予定の2019年10-12月期のGDP速報(1次QE)について予測を行いました。

2019年10-12月期の実質GDPは、季節調整済前期比▲0.8%(年率▲3.0%)と予測します。

2019年10-12月期の実質GDPは、季節調整済前期比▲0.8%(年率▲3.0%)と、5四半期ぶりのマイナス成長を予測する。消費税増税後の反動減などから、内需が総じて減少したとみられる。

民間最終消費は、同▲1.9%と5四半期ぶりの減少を予測する。消費税増税後の反動減に加え、台風19号が消費の押し下げ要因となったが、前回増税時(2014年4-6月期、同▲4.8%)に比べて減少率は小幅にとどまった模様。民間企業設備投資は、輸出・生産の下振れにより企業の投資姿勢がやや慎重化していることに加え、消費税増税後の反動減もあり、同▲3.0%と減少を予測する。民間在庫は、消費税増税後の需要の減少などから増加し、寄与度は+0.4%ポイントを見込む。

輸出は、中国向けがやや持ち直したものの、米国向けが大きく悪化したことなどから、同▲1.1%と2四半期連続の減少を予測する。輸入は、内需の減少を背景に同▲2.7%と、大幅な減少を予測する。結果として、外需の寄与度は+0.3%ポイントを見込む。

表 2019年10-12月期 GDP速報 予測結果

単位: 断りがない限り 季調済前期比 (%)		2019年			
		1-3月期 実績	4-6月期 実績	7-9月期 実績	10-12月期 予測
実質GDP		0.6	0.5	0.4	▲ 0.8
	季調済前期比年率	(2.6)	(2.0)	(1.8)	(▲3.0)
民間最終消費		0.2	0.6	0.5	▲ 1.9
民間住宅投資		1.1	0.5	1.6	▲ 2.2
民間企業設備投資		▲ 0.2	0.9	1.8	▲ 3.0
民間在庫	寄与度	0.1	▲ 0.1	▲ 0.2	0.4
政府最終消費		▲ 0.3	1.6	0.7	0.9
公的固定資本形成		2.0	1.6	0.9	0.6
財・サービス輸出		▲ 2.1	0.5	▲ 0.6	▲ 1.1
財・サービス輸入		▲ 4.1	2.1	0.3	▲ 2.7
内需	寄与度	0.3	0.8	0.6	▲ 1.0
民需	寄与度	0.2	0.4	0.4	▲ 1.3
公需	寄与度	0.0	0.4	0.2	0.2
外需	寄与度	0.4	▲ 0.3	▲ 0.2	0.3
名目GDP		1.3	0.6	0.6	▲ 0.5
	季調済前期比年率	(5.2)	(2.2)	(2.4)	(▲1.8)
GDPデフレーター	前年同期比	0.1	0.4	0.6	1.0
国内需要デフレーター	前年同期比	0.3	0.4	0.2	0.5

注: 表中の実績値は、2019年7-9月期2次QEに基づく。シャドー部分が今回の予測値。
出所: 実績は内閣府「国民経済計算」、予測は三菱総合研究所

本件に関するお問い合わせ先

株式会社三菱総合研究所
〒100-8141 東京都千代田区永田町二丁目 10 番 3 号

【内容に関するお問い合わせ】

政策・経済研究センター 田中康就

電話:03-6858-2717 メール:macro-ml@mri.co.jp

【報道機関からのお問い合わせ】

広報部

電話:03-6705-6000 メール:media@mri.co.jp